

# 報告書

2021年4月6日

山口大学共同獣医学部 獣医微生物学分野  
教授・早坂大輔

試験名：SARS-CoV-2 に対するソウジスキークーの不活化効果検討

試験開始日：2021年2月1日

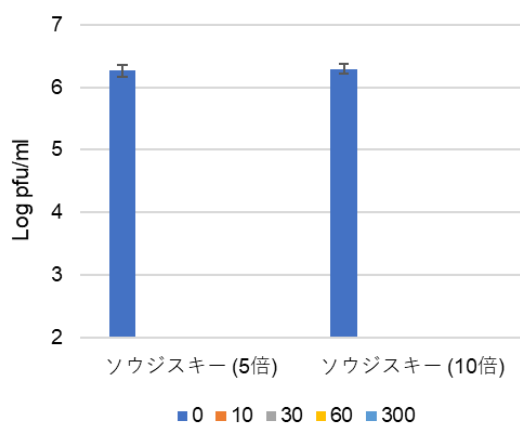
試験担当者：山口大学共同獣医学部獣医微生物学分野 早坂大輔、下田宙

試験方法：

1. 900  $\mu\text{l}$  (10倍) or 800  $\mu\text{l}$  (5倍) の SARS-CoV-2 (MilliQ で 10倍希釈) に対して、ソウジスキークーを 100  $\mu\text{l}$  (10倍) or 200  $\mu\text{l}$  (5倍) 添加
2. 10、30、60秒、5分間反応後、反応液を 10倍階段希釈
3. 直ちに、プラーク法により反応液のウイルス力価を測定

試験結果：

10倍、5倍希釈のいずれの反応時間のいずれにおいても 99.99%以上の不活化効果がみられた。



不活化効率(%)

	10秒後	30秒後	60秒後	300秒後
ソウジスキークー (5倍)	>99.99	>99.99	>99.99	>99.99
ソウジスキークー (10倍)	>99.99	>99.99	>99.99	>99.99

# 報告書

2021年4月6日

山口大学共同獣医学部 獣医微生物学分野

教授・早坂大輔

試験名：SARS-CoV-2 に対するジョキンスキーの不活化効果検討

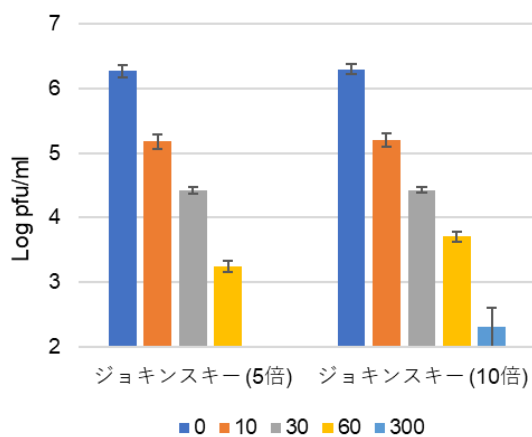
試験開始日：2021年2月1日

試験担当者：山口大学共同獣医学部獣医微生物学分野 早坂大輔、下田宙

試験方法：

1. 900  $\mu$ l (10倍) or 800  $\mu$ l (5倍) の SARS-CoV-2 (MilliQ で10倍希釈) に対して、ジョキンスキーを 100  $\mu$ l (10倍) or 200  $\mu$ l (5倍) 添加
2. 10、30、60秒、5分間反応後、反応液を10倍階段希釈
3. 直ちに、プラーク法により反応液のウイルス力価を測定

試験結果：不活化効率は下表のとおり



不活化効率(%)

	10秒後	30秒後	60秒後	300秒後
ジョキンスキー (5倍)	91.97	98.60	99.91	>99.99
ジョキンスキー (10倍)	92.05	98.66	99.74	>99.99